

4. 法学部ビジネス法学科、自治行政学科において開設する授業科目および単位数は、次のとおりとする。

(1) ビジネス法学科

法学部ビジネス法学科 学年別教育課程表

①

		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	摘 要		
		授 業 科 目 単 位 数	授 業 科 目 単 位 数	授 業 科 目 単 位 数	授 業 科 目 単 位 数			
必修科目		1年基礎演習 4	2年基礎演習 4	3年専門演習 4	4年専門演習 4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。	
		教養諸学入門 2				2単位		
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ 各2				4単位		
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ 各2				8単位		
選 択 科 目	外国語	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ				1か国語を選択し、10単位を履修しなければならない。	
		ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ	ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ					
		フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ	フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ					
		中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ	中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ	各1				
		スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ	スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ		各1			
		朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ	朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ					
		ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ					
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1	各1			
必 修 科 目	キャリア科目	R K U 入 門 1	キャリアカウンセリング			2	4 単位 以上	
		キャリアデザイン 2				2		
		法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ 各2	法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合Ⅰ)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合Ⅱ)Ⅰ・Ⅱ 各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ		各2		
		海外研修	日本通運寄付講座 全国通運連盟寄付講座 野村證券寄付講座			各2		
			インターンシップ			4		
			インターンシップ(海外)			2		
			就職準備講座			1		
			資格関連科目(資格一般)			各1		
			資格関連科目(資格基礎)			各2		
			資格関連科目(資格専門)			各4		
教養基礎科目		哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情	論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ	心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(東洋史) 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在	社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史) 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24 単位 以上	
	専門基礎科目	刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ	憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(契約法) 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ	民法(物権) 民法(不法行為法) 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ	民法(債権総論) 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ	各2		36 単位 以上
選 択 科 目	専門発展科目		商法(手形・小切手法) 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 租税法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 政治学Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ 行政管理論Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ	商法(保険法) 金融取引法 法社会学Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 まちづくりと法 政治外交史Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ	企業会計法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 知的財産法 外国法Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 政治思想史 都市政策論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		学部共通科目 経済学(注2)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 各2	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ	社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	各2	

		1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	摘 要		
		授 業 科 目	授 業 科 目	授 業 科 目	授 業 科 目	単 位 数	単 位 数	
選 目	部 科	経営学	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ 各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ		各2	
		社会学	社会学概論	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論	経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行政と福祉計画論	社会調査法 社会調査実践 社会学対人関係 障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ 各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ	流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ	ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学		スポーツ文化論 コ ー チ 学 スポーツトレーニング論 発 育 ・ 発 達 論	スポーツと栄養Ⅰ スポーツエンダー論(スポーツと女性) スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論	健康づくりとジョギング スポーツメディア論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ産業論 スポーツと余暇	各2	
	教 養		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ	防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ 歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)	日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ 歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ 総合教養講座Ⅰ・Ⅱ	外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		発 展 科 目	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ	各1
	留学英会話Ⅰ・Ⅱ						各1	
	留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ						各1	
	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ			選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ	選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ	選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		各1
			選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ	選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ	選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ			
体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ			選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ	選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ	各1		
教 職 科 目	教師原論 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育学 教育方法学	2 2		
	卒業に必要な単位						124単位以上	

左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。

法学部自治行政学科 学年別教育課程表

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要				
		授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数					
必修科目		1年基礎演習	4	2年基礎演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。			
		教養諸学入門	2							2単位				
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位				
		国家と法Ⅰ・Ⅱ 市民と法Ⅰ・Ⅱ	各2							8単位				
選択科目	外国語(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ	各1					1外国語を選択し、10単位を履修しなければならない。				
		ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ		ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ										
		フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ		フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ										
		中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ		中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ										
		スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ		スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ										
		朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ		朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ										
		ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ		ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ										
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ		(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ										
		必修科目		キャリア科目		R K U 入門	1							4単位以上
キャリアデザイン	2		キャリアカウンセリング				2							
法とキャリア(入門) 法とキャリア(初級)Ⅰ・Ⅱ	各2		法務・行政実習 法とキャリア(中級・私法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(中級・公法)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合1)Ⅰ・Ⅱ 法とキャリア(総合2)Ⅰ・Ⅱ		各2	法とキャリア(上級)Ⅰ・Ⅱ		各2						
					日本通運寄付講座 全国通運連盟寄付講座 野村證券寄付講座		各2							
海外研修							2							
					インターンシップ		4							
					インターンシップ(海外)		2							
					就職準備講座		1							
資格関連科目(資格一般)							各1							
資格関連科目(資格基礎)							各2							
資格関連科目(資格専門)						各4								
必修科目	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情	各2	論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ	各2	心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(東洋史) 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在	各2	社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史) 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	24単位以上					
		政治学Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ		憲法Ⅰ・Ⅱ 民法(契約法) 行政法(行政作用法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)Ⅰ・Ⅱ 日本政治論Ⅰ・Ⅱ 行政学Ⅰ・Ⅱ		民法(物権) 民法(不法行為法) 行政法(行政救済法)Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 地方自治論Ⅰ・Ⅱ		民法(債権総論) 民法(家族法)Ⅰ・Ⅱ 地方自治法 スポーツと法Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 都市政策論Ⅰ・Ⅱ		各2 36単位以上				
				行政管理論Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 国際ビジネス法Ⅰ・Ⅱ 商法(手形・小切手法) 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ 観光と法 法学特殊講義(基礎法)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法1)Ⅰ・Ⅱ		政治外交史Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ 商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 商法(保険法) 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ 消費者法Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 外国法Ⅰ・Ⅱ まちづくりと法 法学特殊講義(公法1)Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(私法2)Ⅰ・Ⅱ		政治思想史 刑法(各論)Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・商行為法) 金融取引法 租税法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法Ⅰ・Ⅱ		各2 II 各2				
				ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ		社会保障論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ		II 各2				
				経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ										

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
		授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
選 択 科 目	経営学	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ				各2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。
	学部共通科目	社会学概論	各2	家族社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 産業社会学 国際社会学 アジア社会と観光 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 児童・家庭福祉論 介護福祉論	各2	経済社会学 開発社会学 余暇社会学 観光心理学 文化人類学 グローバル化と文化 老人福祉論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論	社会調査法 社会調査実践法 社会心理学 対人関係論			各2	
	流通情報学	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ	各2	流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 通信・ネットワーク概論 情報応用システム論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ	ヒューマンインターフェイス論 エルゴノミクス論 情報科学Ⅰ・Ⅱ			各2	
	スポーツ健康科学			スポーツ文化論 コーチ学 スポーツトレーニング論 発育・発達論		スポーツと栄養Ⅰ スポーツエンダー論(スポーツと女性) スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ心理学 スポーツマネジメント論	健康づくりとジョギング スポーツメディア論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ産業論 スポーツと余暇			各2	
	教養発展科目	社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ 歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(西洋史)		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ 歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ 英書講読Ⅰ・Ⅱ 総合教養講座Ⅰ・Ⅱ	外国文化論Ⅰ・Ⅱ			各2	
		英会話AⅠ・AⅡ 各1 留学英会話Ⅰ・Ⅱ 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ	各1	英会話CⅠ・CⅡ 各1	各1	英会話EⅠ・EⅡ				各1	
	教職科目	選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ	選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ			各1	
		選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ	選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ			各1	
	教職科目	教師論 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育学 教育方法学	2 2			各1	
	卒業に必要な単位										

5. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において開設する授業科目および単位数は、次のとおりとする。

(1) スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科 学年別教育課程表

①

	1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要							
	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数								
選 択 科 目	教 養 科 目	現代社会をどう見るか 人と環境との関係を考える 社会の制度を知る 過去を知り現代へつなぐ 文化を通して心を耕す	世界を知り自己へつなぐ 人の心の発達を知る 人間形成について考える 人の一生とスポーツ 自然とともに生きる	もごとの構造を論理的につかむ 憲 法 I・II 現代文章論 I・II	各 2	総合教養講座 I・II	各 2	16 単位以上								
				外国語演習 I・II 外国語講読 I・II					各 2							
		(外) 日本の現在		(外) 日本の思想						(外) 日本事情	各 2					
				(外) 日本語講読 I・II					各 2							
情報科目	情報基礎 I・II	各 2						2 単位以上								
必 修 科 目	外 国 語 科 目	英語 A I・A II 英語 B I・B II ドイツ語 A I・A II ドイツ語 B I・B II フランス語 A I・A II フランス語 B I・B II スペイン語 A I・A II スペイン語 B I・B II 朝鮮(韓国)語 A I・A II 朝鮮(韓国)語 B I・B II 中国語 A I・A II 中国語 B I・B II ポルトガル語・ブラジル語 A I・A II ポルトガル語・ブラジル語 B I・B II (外) 日本語 A I・A II (外) 日本語 B I・B II	海 外 研 修 英語 C I・C II 英語 D I・D II ドイツ語 C I・C II ドイツ語 D I・D II フランス語 C I・C II フランス語 D I・D II スペイン語 C I・C II スペイン語 D I・D II 朝鮮(韓国)語 C I・C II 朝鮮(韓国)語 D I・D II 中国語 C I・C II 中国語 D I・D II ポルトガル語・ブラジル語 C I・C II ポルトガル語・ブラジル語 D I・D II (外) 日本語 C I・C II (外) 日本語 D I・D II	各 1	各 1	2	8 単位以上									
		演習	教養総合演習 I					4	教養総合演習 II	4	専門演習 I	4	専門演習 II	4	16 単位	
		必修	スポーツ健康科学概論 機能解剖学 スポーツ教育学 スポーツ救急教育概論					各 2	スポーツ救急及び実習 I (救急処置) スポーツ生理学 スポーツマネジメント論 スポーツ人類学	各 2					16 単位	
		選 択 必 修 科 目	ス ポー ツ 実 技 科 目					I 体操(器械運動・集団行動を含む) 陸上競技 水泳	各 1						2 単位以上	
								II 野球・ソフトボール サッカー ラグビー アメリカンフットボール		各 1						2 単位以上
								III テニス バスケットボール バレーボール バドミントン 卓球		各 1						3 単位以上
								IV 柔道 剣道 ダンス		各 1						1 単位以上
								V エアロビクダンス 水泳・水中運動		スポーツ方法実習		各 1				
		必修	VI 海浜実習					1							1 単位	
		選 択 必 修 科 目	共 通 科 目					スポーツ哲学 スポーツ史 スポーツ社会学	コーチ学 発 育・発 達 論 スポーツトレーニング論	スポーツと栄養 I・II スポーツ運動学	各 2	各 2	12 単位以上			
	スポーツ行政学 スポーツ心理学 スポーツと法 運動処方論 健康教育学			野外教育とスポーツ スポーツ情報分析論 I スポーツバイオメカニクス 測定評価学 スポーツ医学 I・II	スポーツ外傷・障害と予防 衛生・公衆衛生学(運動衛生学を含む) テーピング論(実習を含む) マッサージ論(実習を含む)											
ス ポー ツ コー チング コース	I		コンディショニング論	メンタルトレーニング論	スポーツ技術・戦術論	2	スポーツ情報分析論 II	各 2	6 単位以上							
			レクリエーション論	リハビリテーション論 スポーツコーチング論 I	スポーツコーチング論 II スポーツコーチング論 III	2	各 2	6 単位以上								
				スポーツトレーニング実習 レクリエーション実習	コンディショニング実習	各 1	各 1	3 単位以上								
					測定評価実習 リハビリテーション実習	各 1	スポーツコーチング実習(インターンシップ)	各 1	3 単位以上							
				体操(器械運動)コーチング 陸上競技コーチング 水泳コーチング 野球・ソフトボールコーチング	サッカーコーチング ラグビーコーチング アメリカンフットボールコーチング	各 1				2 単位以上						
			テニスコーチング バスケットボールコーチング バレーボールコーチング	バドミントンコーチング 卓球コーチング	各 1				2 単位以上							
	柔道コーチング 剣道コーチング	ダンスコーチング	各 1				1 単位以上									

必修科目を除く科目の合計が91単位以上履修しなければならない。

4 つ の コースの中から 1 つ の コースを選択し、20 単位以上履修しなければならない。

	1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要		
	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数			
選 択 必 修 科 目	スポーツ救命・トレーナーコース	I	ウェルネス概論	健康づくりと運動プログラム			2		6単位以上		
				健康管理論	スポーツ救急及び実習Ⅱ(救命処置)			スポーツ・ボランティア論	各2		
		II	レクリエーション論			2				6単位以上	
				高齢者スポーツ論 障害者スポーツ論				エアロビック運動の理論	各2		
		III			野外方法Ⅰ(海洋スポーツ) 野外方法Ⅱ(山野スポーツ)			ライフセービング実習Ⅰ ライフセービング実習Ⅱ	各1	3単位以上	
	IV		スポーツトレーニング実習 レクリエーション実習		コンデショニング実習	各1			3単位以上		
	V		スポーツトレーナー研究Ⅰ スポーツトレーナー研究Ⅱ		スポーツトレーナー研究Ⅲ	各1			2単位以上		
	スポーツマナジメントコース	I	スポーツメディア論	マスコミュニケーション論			各2			6単位以上	
				スポーツ産業論	スポーツ経営学				各2		
		II	健康づくりとジョギング	スポーツと余暇			各2			10単位以上	
				スポーツ情報分析論Ⅱ スポーツとコミュニケーション 国際スポーツ事情 スポーツ文化論	スポーツ施設論 スポーツと地域貢献 スポーツと経済 スポーツ統計学			スポーツジャーナリズム論 スポーツ・ジェンダー論(スポーツと女性)	各2		
		III		スポーツトレーニング実習 レクリエーション実習		コンデショニング実習	各1			3単位以上	
	IV				測定評価実習 リハビリテーション実習			スポーツマナジメント実習(インターシップ)	各1	1単位以上	
	スポーツ教育コース	I	教育原理 安全教育(学校安全を含む) 教師論 教育社会学概論 教育史	各2	教育課程論	2		保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ	各2	6単位以上	
		II					教職特論演習Ⅰ 教職特論演習Ⅱ 教職総合演習	各2	教職特論演習Ⅲ	2	2単位以上
		III	道徳教育の研究 教育心理学	各2	教育相談 精神保健学 学校保健学 生徒指導の研究 特別活動の研究	各2		教育方法学	2		6単位以上
		IV		スポーツトレーニング実習 レクリエーション実習		コンデショニング実習	各1				3単位以上
		V				測定評価実習 リハビリテーション実習			スポーツ教育学実習(インターシップ)	各1	3単位以上
	副専攻科目 ^{注3)}	経済学		ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		経営学総論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ		流通概論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	各2	
		法学		民法(総則)Ⅰ・Ⅱ 民法(物権)Ⅰ・Ⅱ		民法(債権総論)Ⅰ・Ⅱ 民法(総則・商行為)Ⅰ・Ⅱ		商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ	各2	各2	
社会・福祉学			社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 公的扶助論Ⅰ・Ⅱ		児童福祉論Ⅰ・Ⅱ 老人福祉論Ⅰ・Ⅱ		障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会調査法Ⅰ・Ⅱ	各2	各2		
観光学			観光学概論Ⅰ・Ⅱ 観光行動論Ⅰ・Ⅱ		観光人類学Ⅰ・Ⅱ 障害者旅行論Ⅰ・Ⅱ		観光地理Ⅰ・Ⅱ	各2	各2		
自由選択科目				旅行業務論(法令及び国内旅行業務) 旅行業務論(約款) 旅行業務論(海外旅行業務)		旅行業務論(運賃) 旅行業務論(CRS)	各2				
				教育実習(事前指導)	1	教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)	4 2				
卒業に必要な単位数の合計									124単位		

4つのコースの中から1つのコースを選択し、20単位以上履修しなければならない。

必修科目を除く科目の合計が91単位以上履修しなければならない。

別表Ⅱ

1. 経済学部の卒業に必要な単位数の内訳は、次のとおりとする。

経済学科			経営学科		
授業科目		修得すべき単位数	授業科目		修得すべき単位数
必修科目		28 単位	必修科目		34 単位
選択必修科目	外国語科目	10 単位	選択必修科目	外国語科目	10 単位
	キャリア科目	4単位以上		キャリア科目	4単位以上
	教養基礎科目	24単位以上		教養基礎科目	24単位以上
	専門基礎科目	36単位以上		専門基礎科目	32単位以上
選択科目	専門発展科目	86単位以上	選択科目	専門発展科目	86単位以上
	学部共通科目			学部共通科目	
	教養発展科目			教養発展科目	
	教職科目			教職科目	
合計		124単位以上	合計		124単位以上

2. 社会学部の卒業に必要な単位数の内訳は、次のとおりとする。

社会学科			国際観光学科		
授業科目		修得すべき単位数	授業科目		修得すべき単位数
必修科目		30 単位	必修科目		28 単位
選択必修科目	外国語科目	10 単位	選択必修科目	外国語科目	10 単位
	キャリア科目	4単位以上		キャリア科目	4単位以上
	教養基礎科目	24単位以上		教養基礎科目	24単位以上
	専門基礎科目	36単位以上		専門基礎科目	38単位以上
選択科目	専門発展科目	84単位以上	選択科目	専門発展科目	86単位以上
	学部共通科目			学部共通科目	
	教養発展科目			教養発展科目	
	教職科目			教職科目	
合計		124単位以上	合計		124単位以上

3. 流通情報学部の卒業に必要な単位数の内訳は、次の通りとする。

流通情報学科		
授業科目		修得すべき単位数
必修科目		34 単位
選択必修科目	外国語科目	10 単位
	キャリア科目	6単位以上
	教養基礎科目	24単位以上
	専門基礎科目	30単位以上
選択科目	専門発展科目	84単位以上
	学部共通科目	
	教養発展科目	
	教職科目	

合 計	124単位以上
-----	---------

4. 法学部の卒業に必要な単位数の内訳は、次のとおりとする。

ビジネス法学科			自治行政学科		
授業科目		修得すべき単位数	授業科目		修得すべき単位数
必修科目		30 単位	必修科目		30 単位
選択必修 科目	外国語科目	10 単位	選択必修 科目	外国語科目	10 単位
	キャリア科目	4単位以上		キャリア科目	4単位以上
	教養基礎科目	24単位以上		教養基礎科目	24単位以上
	専門基礎科目	36単位以上		専門基礎科目	36単位以上
選択科目	専門発展科目	84単位以上	選択科目	専門発展科目	84単位以上
	学部共通科目			学部共通科目	
	教養発展科目			教養発展科目	
	教職科目			教職科目	
合 計		124単位以上	合 計		124単位以上

5. スポーツ健康科学部の卒業に必要な単位数の内訳は、次のとおりとする。

スポーツ健康科学科	
教 養 科 目	16 単位以上
情 報 科 目	2 単位以上
外 国 語 科 目	8 単位以上
演 習	16 単位
必 修 科 目	16 単位
スポーツ実技科目	10 単位以上
共 通 科 目	12 単位以上
コ ー ス 科 目	20 単位以上
副 専 攻	副専攻科目、自由選択科目または開講科目の中から24単位以上選択
自由選択科目	
合 計	124 単位以上

別表Ⅲ

種別	金額
入学検定料	35,000円

別表Ⅳ (学部入学生学費)

種別	年額	入学年度	2年度以降	納入期日
入学金		294,700円		指定された入学手続期間
授業料	年額	前期 750,800円 後期 375,400円	前年度の金額にそれぞれ人事院勧告(前年度)による改訂率(ベア+定昇率)を乗じた額を加算した金額	(前期)新入生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで。 (後期)新入學生、在學生とも10月20日まで。
施設拡充費 <small>経済学部, 社会学部, 流通情報学部, 法学部</small>	年額	170,300円		新入生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで。
施設拡充費 <small>スポーツ健康科学部</small>	年額	272,500円		
課外活動振興費	年額	19,000円		

※コンピュータ実習料として経済学部・社会学部・法学部は6,000円、流通情報学部は20,000円を加算、スポーツ健康科学部は実習料として50,000円加算

別表Ⅴ (委託學生、聴講生および科目等履修生学費)

区分	委託學生	聴講生
登録料	16,000円	16,000円
聴講料	1単位につき 5,000円	1単位につき 5,000円

区分	科目等履修生
登録料	30,000円
授業料	1単位につき 15,200円

流通経済大学大学院学則（案）

（制定 平成元年3月17日）

第1章 総 則

第1条 この学則は、流通経済大学学則第57条に基づき、流通経済大学大学院（以下「大学院」という。）に関し必要な事項を定める。

第2条 大学院の研究科及び課程は、次のとおりとする。

経済学研究科	経済学専攻	博士課程
社会学研究科	社会学専攻	博士課程
物流情報学研究科	物流情報学専攻	博士課程
法学研究科	リーガル・ビジネス専攻	修士課程
スポーツ健康科学研究科	スポーツ科学専攻	修士課程

第2条の2 前条の各研究科の目的は次のとおりとする。

研究科	目的
経済学研究科	経済学、経営学、会計学、流通論のそれぞれの分野の専門的知識を有する高度職業人、または創造性豊かな研究者の養成
社会学研究科	理論社会学、社会福祉・地域社会学、産業・観光社会学等の諸領域における専門的知識を有する高度職業人、または創造性豊かな研究者の養成
物流情報学研究科	物流情報に関する分野の専門的知識を有する高度職業人、または創造性豊かな研究者の養成
法学研究科	企業や地方自治体において、法的諸問題に対応できる専門的知識を有する人材の養成
スポーツ健康科学研究科	生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に貢献できる高度の専門的知識・技能を有する人材の育成

第2条の3 博士課程の標準修業年限は5年とし、これを前期2年の課程と後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は修士課程として取扱うものとする。

- 2 修士課程の標準修業年限は2年とする。
- 3 博士課程の前期2年の課程は「修士課程」といい、後期3年の課程は「博士後期課程」という。

第3条 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

- 2 修士課程の標準修業年限は、2年とする。ただし、最長在学年限は4年とする。
- 3 修士課程の収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	入学定員	収容定員
経済学研究科	経済学専攻	10名	20名
社会学研究科	社会学専攻	10名	20名
物流情報学研究科	物流情報学専攻	20名	40名
法学研究科	リーガル・ビジネス専攻	10名	20名
スポーツ健康科学研究科	スポーツ科学専攻	10名	20名
計		60名	120名

第3条の2 博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

2 博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。ただし、最長在学年限は6年とする。

3 博士後期課程の収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	入学定員	収容定員
経済学研究科	経済学専攻	5名	15名
社会学研究科	社会学専攻	5名	15名
物流情報学研究科	物流情報学専攻	5名	15名
計		15名	45名

第2章 学年、学期及び休業日

第4条 学年、学期及び休業日については、流通経済大学学則第6条、第7条、第8条及び第9条の規定を準用する。

第3章 履修方法等

第5条 大学院の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)によって行う。

2 授業科目、単位数及び履修方法については、別に定める研究科規則の定めるところによる。

第6条 大学院の単位の計算は、流通経済大学学則第11条の規定を準用する。

第7条 大学院の試験については、流通経済大学学則第16条、第17条及び第18条の規定を準用する。

第4章 入学、休学、復学、退学、編転入学及び再入学

第8条 入学の時期は、毎年4月とする。ただし、特別の必要があり、かつ教育上支障がないときは、10月においても入学させることができる。

第9条 修士課程の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 大学(学校教育法第52条に定める大学をいう。以下同じ。)を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 文部大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (6) その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第9条の2 博士後期課程の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部大臣の指定した者(平成元年9月1日文部省告示第118号による指定)
- (4) その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

第10条 大学院の入学志願者手続、入学許可、在学保証書、保証人、休学、休学期間、休学中の授業料、復学、願い出による退学、学費未納等による退学、転学、編・転入学、再入学及び死亡の届け出については、流通経済大学学則第32条から第45条の規定を準用する。

2 博士後期課程において、所定の単位取得後退学した者の学位取得のための再入学については、別に定める。

第5章 課程修了及び学位

第11条 修士課程修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、研究科規則の定めるところにより、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

第11条の2 博士課程の修了の要件は、大学院に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 前条ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士後期課程の修了の要件は、大学院の修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年(修士課程における在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

3 第1項及び前項の規定にかかわらず、第9条の2第2号、第3号及び第4号の規定により、博士後期課程に入学した者の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、必要な研究指導を受けたうえ、当該大学院の行う博士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

第12条 各研究科において、教育研究上必要と認めるときは、他大学院とあらかじめ協議の上、当該大学院修士課程の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により、履修した授業科目は、8単位をこえない範囲で本大学院当該研究科において履修したものとみなすことができる。

第13条 各研究科において、教育研究上必要と認めるときは、他大学院とあらかじめ協議の上、博士後期課程の学生が当該大学院において、研究上の指導を受けることを認めることができる。

第14条 大学院の課程を修了した者には、次の区分に従い修士又は博士の学位を授与する。

経済学研究科	修士課程	修士(経済学)
	博士課程	博士(経済学)

社会学研究科	修士課程	修士(社会学)
	博士課程	博士(社会学)
物流情報学研究科	修士課程	修士(物流情報学)
	博士課程	博士(物流情報学)
法学研究科	修士課程	修士(法学)
スポーツ健康科学研究科	修士課程	修士(スポーツ科学)

第 15 条 この学則に定めるもののほか、学位に関し必要な事項は流通経済大学学位規則の定めるところによる。

第 6 章 学 費 等

第 16 条 大学院に入学を志願する者は、第 10 条に定める手続きと同時に別表 I に定める入学検定料を納めなければならない。

第 17 条 入学金、授業料、施設拡充費及びその他の学費並びに納入期日は別表 II 及び別表 III のとおりとする。

第 18 条 学年の途中で退学した者でも、その期の学費を納入しなければならない。

2 中途退学者には、既納の学費は返還しない。

第 7 章 運 営 組 織

第 19 条 大学院に大学院委員会を置く。

2 大学院委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 各研究科長
- (3) 各研究科の教授 2 名
- (4) その他学長が必要と認めた者

3 大学院委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 研究及び教育に関する基本的事項
- (2) 大学院学則又は大学院に関する諸規則の制定、改廃及び運用に関する事項
- (3) 学位授与の認証に関すること
- (4) その他大学院に関する重要事項

第 20 条 大学院の各研究科に研究科長及び研究科委員会を置く。

2 各研究科長は、当該研究科委員会の推薦に基づき、理事会の承認を経て、学長が任命する。任期は 2 年とし、その始期は 4 月 1 日とする。ただし、欠員により補充任命された者の任期は、前任者の残任期間とする。

3 各研究科委員会は、当該研究科の教育、研究を担当する本学専任の教授をもって組織する。

4 前項の規定にかかわらず、各研究科委員会は、当該研究科において必要と認める場合は当該研究科の教育、研究を担当する准教授、講師及び兼任の教員を加えて組織することができる。ただし、博士後期課程の担当教員の資格認定並びに入学及び課程修了・学位に関することについて審議する場合は、当該博士後期課程の教育、研究を担当する教員をもって組織するものとする。

5 各研究科委員会は、当該研究科に関する次の事項を審議する。

- (1) 教員組織に関すること

- (2) 入学、休学、復学、願い出による退学、学費未納等による退学、懲戒、留学その他学生に関する事
 - (3) 教育課程及び研究指導に関する事
 - (4) 課程修了及び学位に関する事
 - (5) その他研究科の運営に関する重要事項
- 6 各研究科委員会は、当該研究科委員会構成員の3分の2の出席をもって成立する。ただし、留学中の者、海外出張中の者、特別研究期間中の者、休職中の者および病気その他の理由により引続き3ヶ月以上欠勤中の者は当該研究科委員会構成員の数から除くものとする。
 - 7 各研究科委員会の議事は、出席者の過半数をもって決する。

第21条 大学院の教員組織は、原則として各研究科の基礎となる学部、研究所等の教員をもって構成するものとする。

- 2 大学院の授業は、教授、准教授又は講師が担当する。
- 3 大学院の研究指導は、原則として教授が担当するものとし、各研究科において必要な場合は、当該研究科の准教授が担当し、又は講師に分担させることができるものとする。

第22条 大学院は、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第8章 委託学生、聴講生及び外国人留学生

第23条 委託学生、聴講生及び外国人留学生については、流通経済大学学則第48条から第53条までの規定を準用する。

第24条 本大学院と単位の互換に関する協定のある他大学院学生が、本大学院の授業科目の履修を希望するときは、特別聴講生として許可することがある。

第25条 外国人であって大学院において特定課題についての研究指導を受けようとするものがあるときは、支障がない限り、外国人特別研究生として入学させることができる。

- 2 外国人特別研究生の入学手続、学費等については別に規則をもって定める。

第9章 雑 則

第26条 学生の賞罰については、流通経済大学学則第46条及び第47条を準用する。

第27条 中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有する者で、当該免許状に係る中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

- 2 各研究科において取得することができる教育職員免許状の種類および履修要項は、教職課程に関する規程に定める。

第28条 大学院研究科に関する細則は別に定める。

附 則

1. この学則は、平成元年4月1日から施行する。
2. この学則(改正)は、平成元年11月1日から施行する。

3. この学則(改正)は、平成2年4月1日から施行する。
4. この学則(改正)は、平成3年4月1日から施行する。
5. この学則(改正)は、平成3年7月1日から施行する。
6. この学則(改正)は、平成4年4月1日から施行する。ただし、社会学研究科修士課程の学生には、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)に基づく免許状授与の所要資格を得させるための課程の認定を受けるまでの間、第23条は適用しない。
7. この学則(改正)は、平成5年4月1日から施行する。
8. この学則(改正)は、平成6年4月1日から施行する。
9. この学則(改正)は、平成7年2月1日から施行する。ただし、本規則第20条第2項の規定にかかわらず、完成年次に達しない研究科の研究科長は、学長が選考し、理事会の承認を経て任命するものとする。
10. この学則(改正)は、平成7年4月1日から施行する。
11. この学則(改正)は、平成7年11月1日から施行する。
12. この学則(改正)は、平成8年4月1日から施行する。
13. この学則(改正)は、平成9年4月1日から施行する。
14. この学則(改正)は、平成9年7月8日から施行する。
15. この学則(改正)は、平成10年4月1日から施行する。
16. この学則(改正)は、平成11年4月1日から施行する。
17. この学則(改正)は、平成12年4月1日から施行する。
18. この学則(改正)は、平成13年4月1日から施行する。
19. この学則(改正)は、平成14年4月1日から施行する。
20. この学則(改正)は、平成15年4月1日から施行する。
21. この学則(改正)は、平成17年4月1日から施行する。
22. この学則(改正)は、平成18年4月1日から施行する。
23. この学則(改正)は、平成19年4月1日から施行する。
24. この学則(改正)は、平成20年4月1日から施行する。
25. この学則(改正)は、平成21年4月1日から施行する。
26. この学則(改正)は、平成22年4月1日から施行する。

別表 I

種別	金額
入学検定料	35,000 円

別表 II - A (本学学部卒業生 学費)

種別	年額	入学年度	2年度以降	納入期日
授業料	年額	636,400 円 前期 318,200 円 後期 318,200 円	前年度の金額にそれぞれ人事院勧告(前年度)による改訂率(ベア+定昇率)を乗じた額を加算した金額	(前期) 新入学生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで (後期) 新入学生、在學生とも10月20日まで
施設拡充費	年額	61,800 円		新入学生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで
実験実習料	年額	15,200 円		

別表 II - B (他大学学部卒業生 学費)

種別	年額	入学年度	2年度以降	納入期日
入学金		138,800 円		指定された入学手続期間
授業料	年額	636,400 円 前期 318,200 円 後期 318,200 円	前年度の金額にそれぞれ人事院勧告(前年度)による改訂率(ベア+定昇率)を乗じた額を加算した金額	(前期) 新入学生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで (後期) 新入学生、在學生とも10月20日まで
施設拡充費	年額	61,800 円		新入学生は指定された入学手続期間、在學生は4月20日まで
実験実習料	年額	15,200 円		

別表 III (委託学生および聴講生の入学金および聴講料)

種別	委託学生		聴講生	
入学金	4 単位まで	13,000 円	4 単位まで	26,000 円
	5 単位以上	19,000 円	5 単位以上	38,000 円
聴講料	1 単位につき	11,000 円	4 単位まで	40,000 円
	総額	90,000 円を超えない	超過分 1 単位につき	9,000 円
			総額	90,000 円を超えない

流通経済大学大学院研究科規則（案）

（制定 平成4年3月19日）

第1章 総 則

第1条 流通経済大学大学院の各研究科に関する事項で、流通経済大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）に定めるもののほかは、この規則の定めるところによる。

第2章 教育課程および履修方法等

第2条 各研究科の授業科目、単位数および履修方法は、別表Ⅰ、別表Ⅱ、別表Ⅲ、別表Ⅳ、別表Ⅴ、別表Ⅵ、別表Ⅶおよび別表Ⅷのとおりとする。

第3条 各研究科委員会は、学生の履修を指導するため、各学生ごとに担当教員を定める。

第4条 各授業科目の単位修得の認定は、試験または研究報告等により、担当教員が行うものとする。ただし、病気その他の事由により、正規の試験を受けることができなかった者については、追試験を行うことができる。

2 各授業科目の成績は、合格または不合格とする。ただし、不合格の授業科目については、事情により再試験を許可することができる。

第5条 修士論文提出の時期は、原則として12月末とし、論文審査は2月末までに終了するものとする。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科委員会の議を経て当該研究科長が別に定めることができる。

第6条 課程博士の論文提出の時期は、原則として9月末とし、論文審査は当該学生の在学期間中に終了するものとする。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科委員会の議を経て当該研究科長が別に定めることができる。

第7条 修士論文の審査については、当該研究科委員会が適当と認めるときは、特定の課題についての研究成果の審査をもって代えることができる。

第8条 修士又は課程博士の学位授与に係る試験は、所定の単位を修得し、かつ、学位論文を提出した者に対し、当該学位論文を中心としてこれに関連ある科目について、口頭又は筆答により行うものとする。

第9条 課程修了の認定は、原則として学年の終りに行う。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科委員会の議を経て年度途中においても認定（学位授与）することができる。

第3章 運 営 組 織

第10条 各研究科の円滑な運営を図るため、各研究科に運営委員を置くことができる。

- 2 研究科運営委員会は、当該研究科長を補佐する。
- 3 前項の委員は各研究科2名以内とし、当該研究科委員会構成員の互選で選出する。
- 4 前項の委員の任期は2年とし、その始期は4月1日とする。ただし、補充の委員の任期は前任者の残任期間とする。

附 則

1. この規則は、平成4年4月1日から施行する。
2. この規則の施行に伴い、平成元年3月17日制定の流通経済大学大学院経済学研究科規則は、これを廃止する。
3. この規則(改正)は、平成5年4月1日から施行する。
4. この規則(改正)は、平成6年4月1日から施行する。
5. この規則(改正)は、平成7年4月1日から施行する。
6. この規則(改正)は、平成8年4月1日から施行する。
7. この規則(改正)は、平成9年4月1日から施行する。
8. この規則(改正)は、平成9年7月8日から施行する。
9. この規則(改正)は、平成10年4月1日から施行する。
10. この規則(改正)は、平成11年4月1日から施行する。
11. この規則(改正)は、平成12年4月1日から施行する。
12. この規則(改正)は、平成13年4月1日から施行する。
13. この規則(改正)は、平成14年4月1日から施行する。
14. この規則(改正)は、平成15年4月1日から施行する。
15. この規則(改正)は、平成17年4月1日から施行する。
16. この規則(改正)は、平成22年4月1日から施行する。

別表 I 大学院経済学研究科修士課程授業科目及び履修方法

学 科 目	授 業 科 目 名	単 位 数	備 考
理 論 経 済 学	理論経済学 I 特論	4	授業科目の中から32単位以上を履修しなければならない。 1. 専攻科目の演習を2年次にわたり1年次4単位、合計8単位を履修するものとする。 2. 専攻科目の演習のほか担当指導教員の指示する科目の特論それぞれ4単位、合計24単位を履修するものとする。
	理論経済学 I 演習	8	
	理論経済学 II 特論	4	
	理論経済学 II 演習	8	
	計量経済学 特論	4	
	計量経済学 演習	8	
	経済学 史 特論	4	
	経済学 史 演習	8	
経 済 史	日本経済史 特論	4	
	日本経済史 演習	8	
	西洋経済史 演習	8	
経 済 政 策	経済政策論 特論	4	
	経済政策論 演習	8	
	日本経済論 特論	4	
	日本経済論 演習	8	
	世界経済論 特論	4	
	世界経済論 演習	8	
	農業経済論 特論	4	
	農業経済論 演習	8	
	交通経済論 特論	4	
	交通経済論 演習	8	
財 政 学 ・ 金 融 論	財政学 特論	4	
	財政学 演習	8	
	金融論 特論	4	
	金融論 演習	8	
	租税法 特論	4	
統 計 学	統計学 特論	4	
	統計学 演習	8	
社 会 政 策	社会政策論 特論	4	
	社会政策論 演習	8	
	社会保障論 特論	4	
経 営 学	経営学 特論	4	
	経営学 演習	8	
	経営財務学 特論	4	
	経営財務学 演習	8	
	経営工学 特論	4	
	経営工学 演習	8	
会 計 学	会計学 I 特論	4	
	会計学 I 演習	8	
	会計学 II 特論	4	
流 通	流通論 I 特論	4	
	流通論 I 演習	8	
	流通論 II 特論	4	
	流通論 II 演習	8	
	物流論 特論	4	
	物流論 演習	8	
	マーケティング論 特論	4	
	マーケティング論 演習	8	
	物流経営論 特論	4	
	物流経営論 演習	8	
国 際 物 流	国際物流論 特論	4	
	国際物流論 演習	8	

別表Ⅱ 大学院経済学研究科博士後期課程授業科目及び履修方法

学 科 目	授 業 科 目 名	単 位 数	備 考
理 論 経 済 学	理 論 経 済 学 研 究 指 導	12	授業科目の中から20単位以上を履修しなければならない。 1. 研究指導科目のうちから1科目を選択して専攻科目とする。 (専攻する研究指導科目担当教員に論文作成・特殊研究の履修その他研究一般について指導をうけるものとする。) 2. 原則として入学した年度中に、専攻科目の研究指導のほか担当指導教員の指示する科目の特殊研究2科目、それぞれ4単位、合計8単位を履修するものとする。 3. 原則として、専攻科目の研究指導を3年次にわたり、1年次4単位、合計12単位を履修するものとする。
	理 論 経 済 学 特 殊 研 究	4	
	計 量 経 済 学 研 究 指 導	12	
	計 量 経 済 学 特 殊 研 究	4	
	経 済 学 史 研 究 指 導	12	
経 済 史	日 本 経 済 史 研 究 指 導	12	
	日 本 経 済 史 特 殊 研 究	4	
	西 洋 経 済 史 研 究 指 導	12	
	西 洋 経 済 史 特 殊 研 究	4	
経 済 政 策	経 済 政 策 論 研 究 指 導	12	
	経 済 政 策 論 特 殊 研 究	4	
	日 本 経 済 論 研 究 指 導	12	
	日 本 経 済 論 特 殊 研 究	4	
	日 農 業 経 済 論 研 究 指 導	12	
	日 農 業 経 済 論 特 殊 研 究	4	
	交 通 経 済 論 研 究 指 導	12	
	交 通 経 済 論 特 殊 研 究	4	
	世 界 経 済 論 研 究 指 導	12	
	世 界 経 済 論 特 殊 研 究	4	
財 政 学 ・ 金 融 論	金 融 論 研 究 指 導	12	
	金 融 論 特 殊 研 究	4	
統 計 学	統 計 学 研 究 指 導	12	
	統 計 学 特 殊 研 究	4	
社 会 政 策	社 会 政 策 論 研 究 指 導	12	
	社 会 政 策 論 特 殊 研 究	4	
	社 会 保 障 論 研 究 指 導	12	
	社 会 保 障 論 特 殊 研 究	4	
経 営 学	経 営 学 研 究 指 導	12	
	経 営 学 特 殊 研 究	4	
	経 営 工 学 研 究 指 導	12	
	経 営 工 学 特 殊 研 究	4	
	経 営 情 報 論 研 究 指 導	12	
経 営 情 報 論 特 殊 研 究	4		
会 計 学	会 計 学 研 究 指 導	12	
	会 計 学 特 殊 研 究	4	
流 通	流 通 論 研 究 指 導	12	
	流 通 論 特 殊 研 究	4	
	物 流 論 特 殊 研 究	4	
	物 流 経 営 論 研 究 指 導	12	
	物 流 経 営 論 特 殊 研 究	4	
	国 際 物 流 論 研 究 指 導	12	
国 際 物 流 論 特 殊 研 究	4		

別表Ⅲ 大学院社会学研究科修士課程授業科目及び履修方法

学 科 目	授 業 科 目 名	単 位 数	備 考
理 論 社 会 学	社 会 哲 学 特 論	4	授業科目の中から32単位以上を履修しなければならない。 1. 専攻科目の演習を2年次にわたり1年次4単位、合計8単位を履修するものとする。 2. 専攻科目の演習のほか担当指導教員の指示する科目の特論それぞれ4単位、合計24単位を履修するものとする。
	社 会 哲 学 演 習 特 論	8	
	社 会 思 想 史 特 論	4	
	社 会 思 想 史 演 習 特 論	8	
	社 会 学 理 論 特 論	4	
	社 会 学 理 論 演 習 特 論	8	
	法 社 会 学 特 論	4	
	法 社 会 学 演 習 特 論	8	
	国 際 社 会 学 特 論	4	
	国 際 社 会 学 演 習 特 論	8	
	経 済 社 会 学 特 論	4	
	経 済 社 会 学 演 習 特 論	8	
文 化 人 類 学 特 論	4		
文 化 人 類 学 演 習 特 論	8		
社 会 福 祉 ・ 地 域 社 会 学	福 祉 職 論 特 論	4	
	福 祉 職 論 演 習 特 論	8	
	地 域 福 祉 論 特 論	4	
	地 域 福 祉 論 演 習 特 論	8	
	地 域 社 会 論 特 論	4	
	地 域 社 会 論 演 習 特 論	8	
	心 理 療 法 ・ 心 理 援 助 特 論	4	
	心 理 療 法 ・ 心 理 援 助 演 習 特 論	8	
	教 育 社 会 学 特 論	4	
	教 育 社 会 学 演 習 特 論	8	
	生 涯 学 習 論 特 論	4	
	生 涯 学 習 論 演 習 特 論	8	
	比 較 成 人 学 習 特 論	4	
	比 較 成 人 学 習 演 習 特 論	8	
	社 会 心 理 学 特 論	4	
社 会 心 理 学 演 習 特 論	8		
児 童 福 祉 論 特 論	4		
児 童 福 祉 論 演 習 特 論	8		
産 業 ・ 観 光 社 会 学	産 業 社 会 学 特 論	4	
	産 業 社 会 学 演 習 特 論	8	
	観 光 社 会 学 特 論	4	
	観 光 社 会 学 演 習 特 論	8	
	余 暇 社 会 学 特 論	4	
	余 暇 社 会 学 演 習 特 論	8	
	社 会 階 層 論 特 論	4	
	社 会 階 層 論 演 習 特 論	8	
	マ ス コ ミ 論 特 論	4	
	マ ス コ ミ 論 演 習 特 論	8	
シミュレーション&ゲーミング 特 論	4		
シミュレーション&ゲーミング 演 習 特 論	8		

別表Ⅳ 大学院社会学研究科博士後期課程授業科目及び履修方法

学 科 目	授 業 科 目 名	単 位 数	備 考
理 論 社 会 学	社 会 哲 学 研 究 指 導	12	1. 学生は、授業科目中の研究指導の内から1科目を選択して専攻科目とし、専攻する研究指導担当教員に博士論文の作成、特殊研究の履修、その他研究一般について指導をうけるものとする。 2. 学生は、原則として専攻科目の研究指導を1年次、2年次、3年次にわたり、それぞれ4単位ずつ、合計12単位履修するものとする。 3. 学生は、原則として研究指導担当教員の指示する特殊研究2科目8単位を1年次に履修するものとする。 したがって、博士後期課程修了要件は、当該課程に3年次以上在学し、20単位以上修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することである。
	社 会 哲 学 特 殊 研 究	4	
	社 会 思 想 史 研 究 指 導	12	
	社 会 思 想 史 特 殊 研 究	4	
	国 際 社 会 学 研 究 指 導	12	
	国 際 社 会 学 特 殊 研 究	4	
	経 済 社 会 学 研 究 指 導	12	
	経 済 社 会 学 特 殊 研 究	4	
社 会 福 祉 ・ 地 域 社 会 学	福 祉 職 論 研 究 指 導	12	
	福 祉 職 論 特 殊 研 究	4	
	地 域 福 祉 計 画 論 研 究 指 導	12	
	地 域 福 祉 計 画 論 特 殊 研 究	4	
	地 域 社 会 論 研 究 指 導	12	
	地 域 社 会 論 特 殊 研 究	4	
	教 育 社 会 学 研 究 指 導	12	
	教 育 社 会 学 特 殊 研 究	4	
	生 涯 学 習 論 研 究 指 導	12	
	生 涯 学 習 論 特 殊 研 究	4	
	社 会 心 理 学 研 究 指 導	12	
	社 会 心 理 学 特 殊 研 究	4	
産 業 ・ 観 光 社 会 学	産 業 社 会 学 研 究 指 導	12	
	産 業 社 会 学 特 殊 研 究	4	
	観 光 社 会 学 研 究 指 導	12	
	観 光 社 会 学 特 殊 研 究	4	
	余 暇 社 会 学 研 究 指 導	12	
	余 暇 社 会 学 特 殊 研 究	4	
	社 会 階 層 論 研 究 指 導	12	
	社 会 階 層 論 特 殊 研 究	4	
	マ ス コ ミ 論 研 究 指 導	12	
	マ ス コ ミ 論 特 殊 研 究	4	
	シミュレーション&ゲーミング 研 究 指 導	12	
	シミュレーション&ゲーミング 特 殊 研 究	4	

別表V 大学院物流情報学研究科修士課程授業科目及び履修方法

	授 業 科 目 名	単位数	備 考
物流学 関連科目	国 際 物 流 論 特 論	4	(履修方法) 演習のうち1科目8単位とその 指導教員が担当する特論4単位 の他に、指導教員の指示する科 目計20単位を含め、32単位以上 を履修しなければならない。 なお、物流学関連科目を専攻 科目(演習)とした者は、情報 学関連科目の特論を必ず4単位 以上履修しなければならない。 (修了条件) 2年以上在学し、32単位以上を 修得し、かつ、必要な研究指導 を受けた上、修士論文の審査及 び試験に合格すること。
	国 際 物 流 論 演 習	8	
	国 際 海 運 論 特 論	4	
	国 際 海 運 論 演 習	8	
	産 業 立 地 論 特 論	4	
	ロジスティクス実践特論	4	
	物流システム論演習	8	
	企業成長戦略論特論	4	
	企業成長戦略論演習	8	
	商業経営論特論	4	
	商業経営論演習	8	
	ロジスティクス工学特論	4	
	ロジスティクス工学演習	8	
	ロジスティクス論特論	4	
ロジスティクス論演習	8		
ロジスティクスビジネス論特論	4		
ロジスティクスビジネス論演習	8		
情報学 関連科目	環 境 経 営 論 特 論	4	
	環 境 経 営 論 演 習	8	
	オペレーションズリサーチ特論	4	
	オペレーションズリサーチ演習	8	
	意思決定論特論	4	
	通信・ネットワーク論特論	4	
	通信・ネットワーク論演習	8	
	ソフトウェアシステム論特論	4	
	ソフトウェアシステム論演習	8	
	情報システム論特論	4	
	情報システム論演習	8	
	ロジスティクスデータ解析論特論	4	
ロジスティクスデータ解析論演習	8		

別表VI 大学院物流情報学研究科博士後期課程授業科目及び履修方法

	授 業 科 目 名	単位数	備 考
物 流 情 報 学 関 連 科 目	物 流 事 業 論 特殊研究	4	(履修方法) 1. 学生は、原則として研究 指導教員の指示する研究指 導2科目8単位以上を1年 次に履修するものとする。 2. 学生は、原則として専攻 科目の研究指導を1年次、2 年次、3年次にわたり、それ ぞれ4単位ずつ、合計12単 位履修するものとする。 したがって、博士後期課 程修了要件は、当該課程に 3年以上在学し20単位以上修 得し、かつ、必要な研究指 導を受け、博士論文の審査 および最終試験に合格する ものとする。
	物 流 事 業 論 研究指導	1 2	
	ロジスティクス工学特殊研究	4	
	ロジスティクス工学研究指導	12	
	国 際 海 運 論 特殊研究	4	
	国 際 海 運 論 研究指導	12	
	企 業 成 長 戦 略 論 特殊研究	4	
	企 業 成 長 戦 略 論 研究指導	12	
	物 流 シ ス テ ム 分 析 論 特殊研究	4	
	物 流 シ ス テ ム 分 析 論 研究指導	12	
	商 業 経 営 論 特殊研究	4	
	商 業 経 営 論 研究指導	12	
	ロジスティクス設計論特殊研究	1 2	
	ロジスティクス設計論研究指導	4	
	産 業 立 地 論 特殊研究	1 2	
	情 報 シ ス テ ム 論 特殊研究	4	
	情 報 シ ス テ ム 論 研究指導	1 2	
通 信 ・ ネ ッ ト ワ ー ク 論 特殊研究	4		
通 信 ・ ネ ッ ト ワ ー ク 論 研究指導	1 2		

別表Ⅶ 大学院法学研究科修士課程授業科目及び履修方法

	授 業 科 目 名	単位数	備 考	
基礎科目	企業ガバナンス論 特論	4	(修了要件) 2年以上在学し、演習4単位及び特別研究4単位、基礎科目の企業ガバナンス論特論または自治体ガバナンス論特論のどちらか4単位及びこれら以外の基礎科目もしくはコア科目のなかから20単位以上、合計32単位以上の取得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。	
	自治体ガバナンス論 特論	4		
	リーガルリサーチ 実習	2		
	法 制 史 特論	4		
	政 策 過 程 論 演習	4		
	地 方 自 治 論 演習	4		
	憲 法 演習	4		
	社 会 法 演習	4		
	行 政 法 演習	4		
	租 税 法 演習	4		
	地 域 政 治 論 演習	4		
	刑 事 法 演習	4		
	身 分 法 演習	4		
	財 産 法 I 演習	4		
	財 産 法 II 演習	4		
	経 済 法 演習	4		
	民 事 紛 争 処 理 法 演習	4		
会 社 法 演習	4			
法 制 史 演習	4			
インターンシップ I	2			
コア科目	(企業法務関連科目)			
	財 産 法 I 特論	4		
	財 産 法 II 特論	4		
	身 分 法 特論	4		
	会 社 法 特論	4		
	企 業 経 営 法 務 特論	4		
	消 費 者 法 特論	4		
	雇 用 関 係 法 特論	4		
	経 済 規 制 法 特論	4		
	企 業 活 動 と 刑 法 特論	4		
	企 業 会 計 法 特論	4		
	(自治法務関連科目)			
	憲 法 特論	4		
	行 政 法 特論	4		
	自 治 体 法 務 特論	2		
	租 税 法 特論	4		
	相 続 税 法 特論	2		
	社 会 保 障 論 特論	4		
	行 政 管 理 論 特論	4		
	都 市 政 策 論 特論	4		
	政 策 過 程 論 特論	4		
	コ ミ ュ ニ テ ィ 論 特論	4		
	地 方 財 政 論 特論	4		
	(紛争処理関連科目)			
	刑 事 手 続 法 特論	4		
	民 事 紛 争 処 理 法 特論	4		
	税 務 行 政 争 訟 法 特論	2		
	特 別 研 究	4		
	インターンシップ II	2		

別表Ⅷ 大学院スポーツ健康科学研究科修士課程授業科目及び履修方法

	授業科目名	単位数	備考
共通科目	スポーツプロモーション特講	2	(修了要件) 2年以上在学し、共通科目10単位以上(必修6単位、選択4単位以上)、所属する領域の専門科目・領域科目(選択)の各群から2単位以上計14単位以上、専門科目・他領域科目6単位以上を修得し、合計30単位以上を修得すること、及び必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格すること。
	研究方法演習Ⅰ	2	
	研究方法演習Ⅱ	2	
	研究指導	0	
	生涯スポーツ企画・運営法演習	1	
	スポーツネットワーク運営法演習	1	
	コミュニケーション法演習	1	
	子どもスポーツ指導法演習	1	
	中高齢者スポーツ指導法演習	1	
	競技スポーツ企画・運営法演習	1	
	スポーツコーチング法演習	1	
	技術トレーニング法演習	1	
	戦術トレーニング法演習	1	
	体力トレーニング法演習	1	
	スポーツ救急教育法演習	1	
	スポーツコンテントインテグレーション法演習	1	
	アスレティックケア法演習	1	
専門科目・生涯スポーツ領域科目	A群	2	
	スポーツ文化論特講	2	
	スポーツ教育論特講	2	
	健康社会論特講	2	
	B群	2	
	スポーツマネジメント論特講	2	
	スポーツ行財政論特講	2	
	ヘルスマネジメント論特講	2	
	C群	2	
	スポーツ産業論特講	2	
	スポーツNPO組織・運営論特講	2	
	D群	2	
	レクリエーションスポーツ論特講	2	
	コミュニケーション論特講	2	
	セルフコントロール論特講	2	
E群	2		
子どもスポーツ論特講	2		
中高齢者スポーツ論特講	2		
障害者スポーツ論特講	2		
専門科目・競技スポーツ領域	A群	2	
	フェアプレイ論特講	2	
	スポーツ組織・運営論特講	2	
	スポーツ情報・戦略論特講	2	
	B群	2	
	スポーツコーチング論特講	2	
	スポーツトレーニング論特講	2	
	C群	2	
	運動質論特講	2	
	スポーツ技術論特講	2	
	スポーツ戦術論特講	2	
	D群	2	
	スポーツ体力論特講	2	
	スポーツ心理論特講	2	
	スポーツ栄養論特講	2	
E群	2		
スポーツ救急教育論特講	2		
スポーツコンテントインテグレーション論特講	2		
アスレティックケア論特講	2		